

財務諸表に対する注記

(平成26年度)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当事項はなし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定額法により減価償却を実施している。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・退職給与引当金
従業員の退職給付に備えるため当期末において発生していると認められる額を計上している
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。
- (5) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次の通りである。

科 目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
基本財産	20,000,000	-	-	20,000,000
定期預金	5,000,000			5,000,000
土地	15,000,000			15,000,000
特定資産				14,000,000
退職給与積立金	8,000,000	6,000,000	-	14,000,000
修繕引当金	8,000,000		8,000,000	-
賞与引当金	6,000,000		6,000,000	-
合 計	20,000,000	6,000,000	14,000,000	34,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

科 目	前期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	20,000,000	-	20,000,000	-
定期預金	5,000,000		5,000,000	-
土地	15,000,000		15,000,000	-
特定資産			14,000,000	14,000,000
退職給与積立金			14,000,000	14,000,000
修繕引当金				
賞与引当金				
合 計	20,000,000	-	34,000,000	14,000,000

4. 担保に供している資産

該当事項はなし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

科 目	取得額	減価償却累計額	当期末残高
建物	138,531,270	129,061,209	9,470,061
建物付属設備	6,971,100	3,235,837	3,735,263
構築物	13,602,475	2,444,598	11,157,877
車両運搬具	15,125,808	11,353,819	3,771,989
什器備品	16,463,432	16,032,765	430,667
動物	21,029,520	18,326,239	2,703,281
ソフトウェア	769,670	151,903	617,767
長期前払費用	934,650	218,085	716,565
合 計	213,427,925	180,824,455	32,603,470

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次の通りである。

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
未収入金			
動物広場収益			
動物広場収益(葛飾区)	8,332,937	-	8,332,937
動物広場収益(板橋区)	4,335,984	-	4,335,984
動物広場収益(海老名市)	4,689,365	-	4,689,365
動物広場収益(横浜緑の協会)	1,345,410	-	1,345,410
参加費収入			
参加費等収納代行(株・アプラス)	5,063,940	-	5,063,940
参加費等収納代行(イブシロン㈱)	3,712,660	-	3,712,660
乗馬教室収入			
E・ぱかクラブ	795,000	-	795,000
施設利用収益			
南相馬にゃんこはうす	467,201	-	467,201
雑 収 入			
(株)座間緑園土木	38,773	-	38,773
川に学ぶ体験協議会	140,000	-	140,000
その他 3件計	93,103	-	93,103
合 計	29,014,373	-	29,014,373

7. 保障債務等の偶発債務

該当事項はなし

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

該当事項はなし

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当事項はなし

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(指定正味財産は平成18年度減南相馬市の補助金で作った浄化槽)

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次の通りである。

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	141,975
経常外収益への振替額	
目的達成による指定解除額	なし
合 計	141,975

11. 関連当事者との取引の内容

該当事項はなし

12. 重要な後発事象

該当事項はなし

13. その他

特に明示する取引はない。